



地理歴史・公民(世界史B, 日本史B, 地理B, 政治・経済)問題

はじめに、これを読みなさい。

1. これは、世界史B, 日本史B, 地理B, 政治・経済の4科目の問題を綴じた冊子である。必要な科目を選択して解答しなさい。
2. 問題は全部で78ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
3. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
4. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
5. 監督者の指示にしたがい、解答用紙にある「解答科目マーク欄」に1つマークし、「解答科目名」記入欄に解答する科目名を記入しなさい。なお、マークしていない場合、または複数の科目にマークした場合は0点となる。
6. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。解答番号は各科目の最初に示してある。
7. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
8. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入のこと。
9. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
10. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
11. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。
12. この問題冊子は必ず持ち帰ること。
13. マーク記入例

良い例	悪い例
	

日 本 史 B

(解答番号 1～42, 101～108)

〔I〕 次の1～4の文章を読み、以下の設問に答えよ。(解答番号1～8, 101～102)

- 1 今からおよそ1万数千年前の になると、地球の気候も温暖になり、海面が上昇して日本列島も大陸と切り離されて、現在に近い自然環境となった。こうした自然環境の変化に対応して、人びとの生活も大きく変わり、縄文文化が成立する。^(ア)
- 2 紀元前3世紀に、中国では ・漢(前漢)という強力な統一国家が形成された。こうした動きは、周辺民族に強い影響をおよぼし、朝鮮半島を経て日本列島にも波及したのである。一方、日本では紀元前4世紀ごろ、大陸から渡来した人々によって、稲作と のすすんだ技術が伝えられ、社会のしくみや人々の生活も大きく変わり、弥生文化が成立する。^(イ)
- 3 唐が高句麗に侵攻するという緊張のなかで、周辺諸国は中央集権の確立と国内統一の必要にせまられた。倭では蘇我入鹿が山背大兄王を滅ぼして権力集中をはかったが、中大兄皇子は、中臣鎌足らの協力を得て、王族中心の中央集権をめざし、645(大化元)年に蘇我蝦夷・入鹿を滅ぼした。そして、王族の軽皇子が即位して となり、中大兄皇子を皇太子とする新政権が成立し、政治改革を進めた。^(ウ)
- 4 894年に、遣唐大使に任じられた は派遣の中止を建議した。すでに唐は、8世紀の内乱ののちは衰退を続けており、多くの危険を冒してまで公的な交渉を続ける必要がないというのが、その理由であった。907年、東アジアの政治と文化の中心であった唐はついに滅びた。^(エ)

問 1 空欄(1)には地質学でいうところの時代区分(地質年代)を表す用語が入るが、その用語として最も適切な用語を、解答用紙裏面の解答欄に漢字3文字で記入せよ。(解答番号101)

問 2 空欄(2)に入る中国の国名として最も適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 1)

- A 殷 B 魏 C 周
D 秦 E 晋

問 3 空欄(3)に入る用語として最も適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 2)

- A 金属器 B 骨角器 C 打製石器
D 土器 E 磨製石器

問 4 空欄(4)に入る天皇名として最も適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 3)

- A 皇極天皇 B 孝徳天皇 C 持統天皇
D 推古天皇 E 天智天皇

問 5 空欄(5)に入る人物の氏名を、解答用紙裏面の解答欄に漢字で記入せよ。
(解答番号 102)

問 6 下線部(ア)に関連して、縄文時代の様子を表した記述として適切でないものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。

(解答番号 4)

- A あらゆる自然物や自然現象に霊の存在を信じておそれていた。
B 食料の獲得法が多様化したが、定住的な生活はまだ始まらなかった。
C 食料を煮たり貯蔵したりする道具として土器がつくられた。
D 日本列島は入り江の多い島国になり、漁労の発達がうながされた。
E 身分の上下関係や貧富の差はなかったと考えられている。

問 7 下線部(イ)に関連して、弥生時代の様子を表した記述として適切でないものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。

(解答番号 5)

- A 稲作がはじまったことによって、穀物をたくわえる倉庫がつけられた。
- B 環濠集落があらわれ、縄文時代にはみられなかった武器が出現する。
- C 死者は、共同墓地に葬られ、木棺墓などに伸展葬したものが多い。
- D 当時の稲作は水田が整備されたが、田植えはまだはじまっておらず、直播きで行われていた。
- E 南西諸島では「貝塚文化」とよばれる食料採取文化が続いた。

問 8 下線部(ウ)の事件を何というか、下記の中から該当するものを1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 6)

- A 安史の乱 B 乙巳の変 C 磐井の乱
- D 壬申の乱 E 大化の改新

問 9 下線部(エ)に関連して、646(大化2)年に「改新の詔」で示された公地公民制への移行をめざす政策を説明する記述として適切でないものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 7)

- A 豪族の田荘・部曲を廃止した。
- B 全国的に人民・田地を調査した。
- C 地方行政組織の「評」が各地に設置された。
- D 統一的な税制の施行を目指した。
- E わが国初の全国的な戸籍である「庚寅年籍」を作成した。

問10 下線部(オ)に関連し、唐の滅亡後、五代十国の諸国分立の後に、979年に中国は再統一されたが、その国名として適切なものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 8)

- A 金 B 高麗 C 西夏
- D 宋(北宋) E 遼(契丹)

日本史B 問題は次ページに続いています。

〔Ⅱ〕 次の1, 2の文章を読み, 以下の設問に答えよ。(解答番号9~16, 103~104)

1 貴族文化は院政期に入ると, 新たに台頭してきた武士や庶民とその背後にある地方文化をとり入れるようになって, 新鮮で豊かなものを生み出した。寺院に所属しない聖や上人などとよばれた民間の布教者によって, 浄土教の思想は全国に広がった。地方豪族のつくった阿弥陀堂や, 浄土教美術の秀作が各地に残されている。

後白河法皇がみずから民間の流行歌謡である (1) を学んで『梁塵秘抄』を編んだことは, この時代の貴族と庶民の文化との深い関わりをよく示している。

また, インド・中国・日本の1000余りの説話を集めた『今昔物語集』は武士や庶民の生活を見事に描いており, 将門の乱を描いた『将門記』に続いて, 前九年合戦を描いた『陸奥話記』などの初期の軍記物語が書かれたことも, この時代の文学が地方の動きや武士・庶民の姿に関心を持っていたことを示している。

これまでの物語文学にかわって, 『栄花(華)物語』や『大鏡』などの国文体のすぐれた歴史物語が著されたのも, 転換期に立って過去の歴史をふり返ろうとするこの時期の貴族の思想をあらわしている。

問 1 空欄(1)に入る用語として最も適切な用語を, 解答用紙裏面の解答欄に漢字で記入せよ。(解答番号103)

- 問 2 下線部(ア)に関連する以下の史料(『中右記』)をよみ、史料中にある二重下線部「幼主三代」の組み合わせとして、もっとも適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 9)

史料『中右記』

禅定法王は、後三条院崩後、天下の政をとること五十七年、意に任せ、法に拘らず、除目・叙位を行ひ給ふ。古今未だあらず。

……威四海に満ち天下帰服す、幼主三代の政をとり、齋王六人の親となる、桓武より以来、絶えて例なし。

- A 安徳天皇—土御門天皇—順徳天皇
- B 白河天皇—鳥羽天皇—後白河天皇
- C 崇徳天皇—近衛天皇—後白河天皇
- D 二条天皇—六条天皇—後鳥羽天皇
- E 堀河天皇—鳥羽天皇—崇徳天皇

- 問 3 下線部(イ)の例として該当しないものを、下記のなかから最も適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 10)

- A 白杵の磨崖仏
- B 白水阿弥陀堂
- C 中尊寺金色堂
- D 富貴寺大堂
- E 法界寺阿弥陀堂

- 問 4 下線部(ウ)の説明としても最も適切なものを一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 11)

- A 平正盛は、常陸で反乱を起こした源義親を討った。
- B 出羽の豪族清原氏の内紛に陸奥守源義家が介入し、藤原清衡を助けて内紛を平定した。
- C 源経基らは、下総で反乱を起こしていた藤原純友を討った。
- D 源頼信は追捕使として、上総で反乱を起こした平忠常を鎮圧した。
- E 源頼義・義家は朝廷の命により、出羽の豪族清原氏の助けを得て、陸奥の豪族安倍氏を滅ぼした。

問 5 下線部(エ)に関連して中世に描かれた歴史書のジャンルに入らない作品を一つ選んで、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 12)

- A 吾妻鏡 B 元亨釈書 C 愚管抄
D 十訓抄 E 水鏡

2 明を中心とする国際秩序の中で行われた日明貿易は、国王が明の皇帝へ朝貢し、その返礼として品物を受け取るという形式をとらなければならなかった。また遣明船は、明から交付された (2) とよばれる証票を持参することを義務づけられた。これにより日明貿易を (2) 貿易ともいう。日明貿易は、4代將軍足利義持が朝貢形式に反対して一時中断し、6代將軍足利義教の時に再開された。

15世紀後半、幕府の衰退とともに、貿易の実権は次第に堺商人と結んだ (3) 氏や博多商人と結んだ (4) 氏の手に移った。(3) 氏と (4) 氏は激しく争って、1545(大永3)年には (5) で衝突を引き起こした。そしてこの争いに勝った (4) 氏が貿易を独占したが、16世紀半ばに同氏は滅亡し、(2) 貿易も断絶した。

問 6 空欄(2)に入る適切な語句を解答用紙裏面の解答欄に漢字で記入せよ。
(解答番号 104)

問 7 空欄(3)~(4)に入る適切な名称をそれぞれ下記の共通語群の中から選び、順にその記号を解答欄にマークせよ。

(空欄(3)が解答番号 13, 空欄(4)が解答番号 14)

[共通語群]

- A 畠山 B 山名 C 斯波 D 大内
E 大友 F 一色 G 細川 H 京極

問 8 空欄(5)に入る適切な名称を下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 15)

- A 杭 州 B 安禄山 C 寧 波
D 三 浦 E 厦 門

問 9 下線部(オ)に関連する事項として間違っているものを下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 16)

- A 足利義満は使者に国書を持たせて明に派遣し、これに対し明の皇帝は「日本国源道義」あての返書と明の曆を義満に与えた。
- B 日本からの輸出品は刀剣などの武器・武具類、扇などの工芸品、銅・硫黄などの鉱産物であったのに対し、輸入品は銅銭、生糸、陶磁器、書画などで、これらは唐物と呼ばれて珍重された。
- C 足利義満は 1401(応永 8)年、明に使者を派遣して国交を開いた。
- D 第 1 回遣明船の正使は義満の側近の僧の祖阿、副使は博多商人の肥富であった。
- E 朝貢形式の貿易では、滞在費・運搬費などすべて日本側が負担しなければならなかった。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、以下の設問に答えよ。(解答番号 17～24, 105～106)

1 1782(天明2)年から冷害に見舞われた全国の中で、とくに東北農村の凶作はひどく、飢饉の惨状は筆舌に尽くしがたいものであった。北関東や東北に被害が特に集中したのは の大噴火の降灰の影響もあった。しかし、飢饉の激化は、百姓が一部の富裕者と多数の貧窮層に分かれていたため、貧窮層で蓄えもなく、賃金を得て食糧を購入していた層が直ちに深い飢餓状態に陥ったことにもよる。さらに、領主が江戸・大坂に廻米したため、食糧の欠乏した自領域(ア)に供給が不足したことも影響している。かくして、江戸の米価は高騰し続け、裏長屋居住の大工・左官などの職人層や鳶・車力などの日雇層などの米の消費者は町奉行に訴えたが拒まれ、ついに米を買い占めていた米屋などを打ち壊した。これが天明の打ちこわし(1787年)であり、後の松平定信による寛政(イ)の改革に大きな影響を与えることになる。

その後、1840年代にも天保の改革によって幕府や諸藩による改革政治が行われたものの、農村の小作層や都市下層民にとっては抜本的な解決策とはならず、彼らは幕末に向けて全国で幾度もの百姓一揆などに立ち上がることで年貢減免の要求を行った。さらに、開港後の1866(慶応2)年には武州一揆と呼ばれる武蔵国で起こった百姓一揆・打ちこわしが広範な展開を示し、一揆勢は横浜に向かい、各地で打ちこわしやこれを防ごうとする側との間に衝突を起こした。

また、大和に天理教、備前に 、備中に など、のちに教派神道とよばれる民衆宗教がすでに生まれていたが、これらは時代の転換期のゆきづまった世相から救われたいという民衆の願いに応えていた。

問 1 空欄(1)に入る山の名称を、解答用紙裏面の解答欄に漢字で記入せよ。

(解答番号 105)

問 2 空欄(2)～(3)に入る最も適切な語句をそれぞれ下記の共通語群の中から選び、順にその記号を解答欄にマークせよ。

(空欄(2)が解答番号 17, 空欄(3)が解答番号 18)

[共通語群]

- | | | |
|-------|-------|-------|
| A 丸山教 | B 大本教 | C 金光教 |
| D 黒住教 | E 蓮門教 | F 如来教 |

問 3 下線部(ア)と最も関連が薄いものを下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 19)

- | | | |
|-------|-------|------|
| A 掛屋 | B 蔵屋敷 | C 倉役 |
| D 納屋物 | E 札差 | |

問 4 下線部(イ)に関連する事項の説明として間違っているものを下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 20)

- A 危機に備えて、各地に社倉・義倉をつくらせて米穀を蓄えさせた。
- B 大名・旗本らには俸約を求め、困窮する旗本・御家人を救済するために、棄捐令を出した。
- C 江戸では、両替商を中心とする豪商が幕府に登用され、その力を利用して改革が進められた。
- D 町々に町費節約を命じ、飢饉に供えて節約分の7割を積み立てさせた。
- E 民間に対する厳しい出版統制を行い、人情本作者の為永春水などが弾圧された。

2 江戸幕府は体制を支える理論として朱子学を重んじ、元禄時代には湯島聖堂^(ウ)を設立し、学問所を整備した。これはのちの寛政の改革時に、官立の昌平坂学問所となる。また、各藩は藩士の子弟の教育のために と呼ばれる教育機関を設置し、その数は江戸時代を通じて200校以上にものぼった。

では、はじめ朱子学を主とする儒学の講義や武術を授けるものがほとんどであったが、後には洋学や国学も取り入れ、年齢や学力に応じた学級制もおこなわれた。そして城下町を離れた土地にも藩の援助を受けて藩士や庶民の教育をめざす郷学(郷校)がつくられるようになった。岡山藩主池田光政が建てた はその一つである。

民間でも、武士・学者・町人によって私塾が開かれ、儒学や国学・洋学などが講義された。なかでも大坂の懐徳堂^(エ)は、18世紀初めに大坂町人の出資で設立され、寛政の改革のころには中江竹山を学頭として朱子学や陽明学を町人に教えた。

一般庶民の初等教育機関である寺小屋は、村役人・僧侶・神職・富裕な町人などによって経営され、読み・書き・そろばんなどの日常生活に役立つ教育を行った。また18世紀の初め、京都の は心学をおこし、儒教道徳に仏教や神道の教えを加味した生活倫理をやさしく説いた。これらの庶民教育は都市を中心に農村にも広まり、読み・書きを中心とする初等教育が抜きんでて普及した。

問 5 空欄(4)に入る最も適切な語句を、解答用紙裏面の解答欄に記入せよ。

(解答番号 106)

問 6 空欄(5)に入る最も適切な名称を下記から一つ選び、その記号を解答欄に

マークせよ。(解答番号 21)

A 養賢堂

B 閑谷学校

C 致道館

D 開智学校

E 花島教場

問 7 空欄(6)に入る最も適切な人物名を下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 22)

- A 貝原益軒 B 手島堵庵 C 石田梅岩
D 中沢道二 E 関孝和

問 8 下線部(ウ)に関連した事項の説明として間違っているものを下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 23)

- A 徳川綱吉は林信篤を大学頭に任じ、湯島聖堂(孔子廟)を建てた。
B 柴野栗山、岡田寒泉、尾藤二洲が儒官に任ぜられ、「寛政の三博士」と称された。
C 木下順庵は前田綱紀に招かれ、のちに徳川家光の侍講になった。
D 京都相国寺の禅僧であった藤原惺窩は、還俗して朱子学の啓蒙につとめた。
E 林羅山は徳川家康に仕え、羅山の子孫(林家)は代々儒者として幕府に仕えて、学問と教育を担った。

問 9 下線部(エ)に関連して、私塾の開設者と名称についての組み合わせの中で、間違っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 24)

- A 吉田松陰—松下村塾 B 大塩平八郎—洗心洞
C 伊藤仁斎—古義堂 D 荻生徂徠—鳴滝塾
E 大槻玄沢—芝蘭堂

〔Ⅳ〕 次の文章を読み、続く設問に答えよ。(解答番号 25～32, 107～108)

1 明治新政府は、明治十四年の政変^(ア)の際に、天皇と政府に強い権限を与える憲法を制定する方針を決めていたが、翌 1882(明治 15)年には、伊藤博文らをヨーロッパに派遣して憲法調査にあたらせた。伊藤はドイツ流の憲法理論を学び、翌年帰国して憲法制定・国会開設の準備を進めた。

まず 1884(明治 17)年に を定め、将来の上院(貴族院)の土台を作った。ついで 1885 年には太政官制を廃止して内閣制度を制定した。

地方制度の改革も、ドイツ人顧問モッセの助言を得て を中心に進められ、1888 年に市制・町村制が、1890 年には府県制・郡制が公布された。

政府の憲法草案作成作業は、1886 年末頃から国民に対しては極秘のうちに進められ、伊藤を中心に井上毅・伊東巳代治・金子堅太郎らが起草にあたった。この草案は、天皇臨席のもと^(イ)に で審議が重ねられ、1889 年 2 月 11 日、大日本帝国憲法(明治憲法)^(ウ)が発布された。

問 1 空欄(1)に入るもっとも適切な用語を下記から選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 25)

- A 皇室典範 B 華族令 C 集会条例
D 保安条例 E 貴族院令

問 2 空欄(2)に入るもっとも適切な人物名を下記から選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 26)

- A 西園寺公望 B 黒田清隆 C 松方正義
D 山県有朋 E 井上馨

問 3 空欄(3)に入るもっとも適切な語句を、解答用紙裏面の解答欄に漢字で記入せよ。(解答番号 107)

問 4 下線部(ア)に関連する説明として間違っているものを下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 27)

- A 1878 年に政府の最高指導者だった大久保利通が暗殺された。
- B 大隈重信はフランス流の急進的な自由主義を唱えたため、伊藤博文らと激しく対立した。
- C 政府は大隈を罷免し、欽定憲法制定の基本方針を決定し、国会開設の勅諭を出した。
- D 旧薩摩藩出身の黒田清隆は、北海道の開拓使所属の官有物を払い下げるにあたり、同藩出身の政商が関係する関西貿易社に不当に安い価格で払い下げようとした。
- E この政変によって、伊藤博文らを中心とする薩長藩閥の政権が確立した。

問 5 下線部(イ)に関連して、助言を行ったドイツ人顧問は誰か。下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 28)

- A シュタイン B グナイスト C ロエスレル
- D ボアソナード E メッケル

問 6 下線部(ウ)の大日本帝国憲法に関連する説明として間違っているものを下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 29)

- A 憲法上「臣民」とよばれた日本国民は、法律の範囲内で所有権の不可侵、信教の自由、言論・出版の自由は認められていたが、集会・結社は禁止されていた。
- B 帝国議会は貴族院と衆議院からなっていたが、衆議院の立法権行使は華族や勅任議員などからなる貴族院の存在によって実質的に禁止されていた。
- C 天皇は統治権のすべてを握る総攬者であり、文武官の任免、国防方針の決定など、議会の関与できない大きな権限を持っていた。
- D 種々の制限を設けられた議会の権限と比べ、政府の権限は強く、各国務大臣は個別に、議会にではなく天皇に対してのみ責任を負うものとされた。
- E 陸海軍統帥権は、内閣からも独立して天皇に直属していた。

2 1904(明治 37)年 2 月、日本とロシアはたがいに宣戦を布告し、日露戦争が(ウ) 日露戦争が(ウ) 始まった。日本は、ロシアの満州占領に反対するアメリカ・イギリス両国の経済的支援を得て、戦局を有利に展開した。しかし、長期にわたる戦争は日本の国力の許すところではなく、ロシアも国内で革命運動が高まって戦争継続が困難になったため、(4) 米大統領の斡旋によって、1905(明治 38)年 9 月、アメリカのポーツマスで日本全権 (5) とロシア全権ヴィツェは講和(ウ) 条約(ポーツマス条約)に調印した。

問 7 空欄(4)に適当と思われる人物名を下記の中より選び、その記号を解答欄に記入せよ。(解答番号 30)

- A セオドア・ルーズベルト
- B マッキンレー
- C フランクリン・ルーズベルト
- D トルーマン
- E フィルモア

問 8 空欄(5)に入る人物名を解答用紙裏面の解答欄に漢字で記入せよ。

(解答番号 108)

問 9 下線部(エ)の「日露戦争」が勃発するきっかけとなった事件として最も適当なものを選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 31)

- A 江華島事件 B シベリア出兵 C 北清事変
D 三国干渉 E ハーグ密使事件

問10 下線部(オ)の講和条約に関連する説明として間違っているものを下記から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 32)

- A 韓国に対する日本の内政・外交権を全面的に認めた。
B 清国からの旅順・大連の租借権を譲渡した。
C 北緯 50 度以南のサハリンと付属の諸島を譲渡した。
D 沿海州とカムチャツカの漁業権を日本に認めた。
E 長春以南の鉄道とその付属の利権を日本に譲渡した。

[V] 次の文章を読み、続く設問に答えよ。(解答番号 33~42)

1 大正から昭和初期にかけての文化の特色は、大衆文化の成立と発展にあった。欧米先進諸国からさまざまな思想や文学も新たに紹介された。文学では、森鷗外や夏目漱石らを指導者として新しい作家があらわれ、活況を呈した。人道主義・理想主義をかけた、都会的感覚と西洋的教養を身につけた有島武郎や志賀直哉らの (1) が、また耽美的作風で知られる永井荷風や谷崎潤一郎ら、さらに芥川龍之介、菊池寛らの (2) などが活躍し、横光利一や川端康成らの (3) とよばれる人々がこれに続いた。大正末から昭和の初めにかけては、社会主義運動・労働運動の高揚にともなって、プロレタリア文学運動もおこり、プロレタリアの生活に根ざし階級闘争の理論に即した作品を掲載した。代表作に (4) の『蟹工船』、(5) の『太陽のない街』などがある。

問 1 空欄(1)~(5)に入る最も適切な用語をそれぞれ下記の共通語群の中から選び、順にその記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 33~37)

- | | | |
|--------|---------|---------|
| A 斎藤茂吉 | B 徳永直 | C 新感覚派 |
| D 浪曼派 | E 自然主義 | F 小林多喜二 |
| G 新思潮派 | H 島崎藤村 | I 白樺派 |
| J 耽美派 | K 萩原朔太郎 | L 中里介山 |

2 日露戦争後には、坪内逍遙の文芸協会や (6) の自由劇場などが、西洋の近代劇を翻訳・上演し、歌舞伎や新派劇に対して新劇といわれた。また、音楽では洋楽の普及がめざましかった。

美術の面では新しく同人会派が創設され、「金蓉」の (7) や「紫禁城」を描いた (8) , 「麗子微笑」の (9) らが活躍した。日本画では「生々流点」を描いた (10) らが日本美術院を再興して、近代絵画としての新しい様式を開拓した。

問 2 空欄(6)～(10)に入る最も適切な用語をそれぞれ下記の共通語群の中から選
び、順にその記号を解答欄にマークせよ。(解答番号 38～42)

- | | | |
|---------|--------|---------|
| A 高村光太郎 | B 下村観山 | C 梅原竜三郎 |
| D 岸田劉生 | E 小山内薫 | F 土方与志 |
| G 安井曾太郎 | H 横山大観 | I 河竹黙阿弥 |